



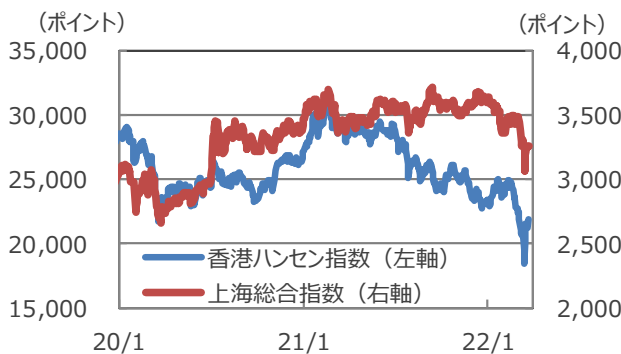
今日のトピック 中国株は振れの大きい展開

3月前半急落も、政府の市場支援策期待から急反発

ポイント1 中国株は月前半に大幅下落

■ 中国株式市場は振れの大きい展開となっています。3月前半は、ウクライナ情勢の緊迫化に伴うリスク回避の動きの強まりに加え、中国がロシアを支援した場合に米国が対抗措置を取る姿勢を示したことや、新型コロナウイルスの感染再拡大を受けて広東省深センなどで都市封鎖が実施されたことが嫌気され、株式市場は急落しました。3月15日には、中国本土市場の上海総合指数は、約1年8カ月ぶりの安値を付けました。また、香港市場のハンセン指数は約6年ぶりの安値を付けました。

【上海総合指数と香港ハンセン指数】

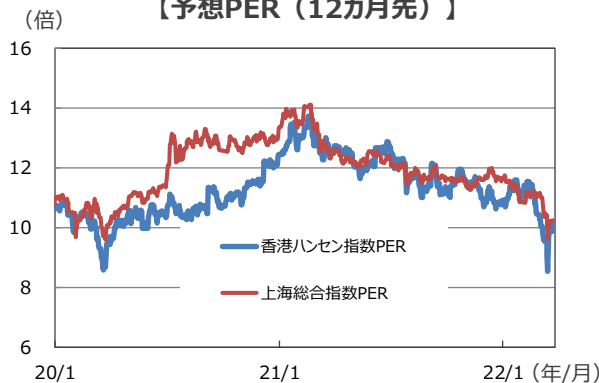


(注) データは2020年1月1日～2022年3月22日。
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ポイント2 中国政府の市場支援策への期待で急反発

■ しかし、3月16日に開かれた国務院金融安定発展委員会で、劉鶴副首相が「市場に有利な施策を積極的に打ち出すべき」との意向を示すと、市場支援策への期待から株式市場は急反発しました。また、米国上場の中国株の監査問題について米中双方の監督当局が対立の解決に向けて取り組んでいるとしたことも好感されました。市場のムードは一変し、中国株式市場はその後大きく上昇しています。

【予想PER (12カ月先)】



(注) データは2020年1月1日～2022年3月22日。
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

今後の展開 中国株式市場は底堅く推移

- ウクライナ情勢の緊迫化で地政学リスクが高まり、海外からの中国株売りが強まりましたが、3月16日の金融安定発展委員会で、市場に有利な施策を打ち出す方針が表明されたことにより、海外投資家の売り越しは一服するとみています。
- また、弊社は、中国政府の掲げる「共同富裕」は民間セクターの活力を削ぐものではなく、中間層を育成し、内需主導で成長を持続させる政策だと理解しており、中国政府の規制リスクについて過度な悲観論は不要と考えています。このため中国株式市場は底堅く推移するとみています。

ここもチェック! 2021年12月16日 中国の生産は伸び加速、消費と投資は減速
2021年11月24日 『中国恒大』は秩序ある長い企業再編プロセスへ

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。